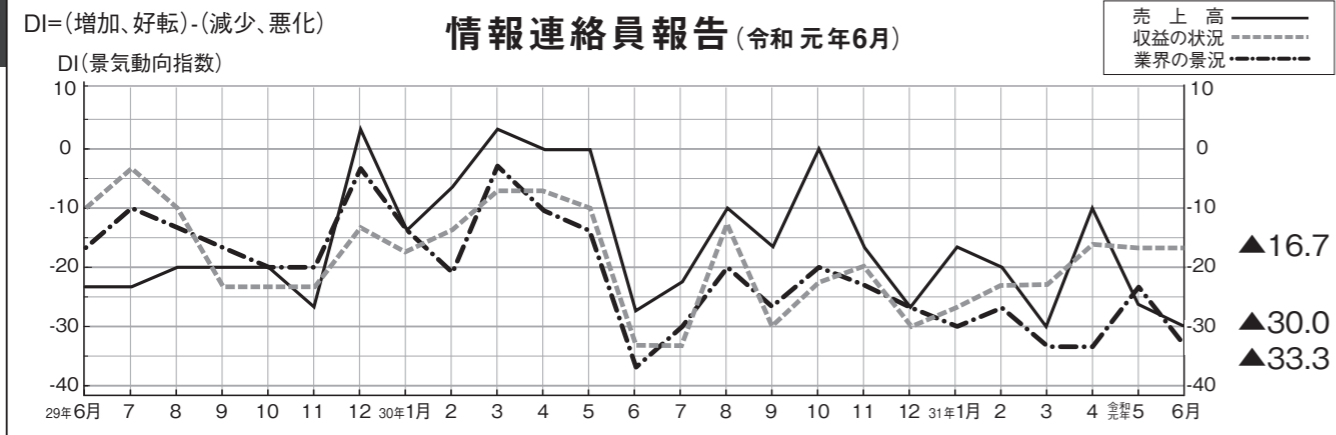


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年6月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>6月度商況は平年並であった。食品業界では、現場製造部門での人手不足が見受けられ、また、求職者の減少が生産に影響してきた。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>当月はやや上向いたものの、需要の低迷状態が続いている。前年同月比118%。</p>
<p>酒類製造</p> <p>県内外共に不調。消費の低迷が続く。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比113%。市況は減少状況が続いていたが、5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加に転じ、6月分も継続している。</p>
<p>テントシート</p> <p>各種材料費の値上がりに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格に上手く転嫁できていない状況にあると思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>団地内の業況は全般に前年度並で推移している。震災復興などのインフラ整備が全国的に活況のため、インフラ関連の一部企業は引き続き業績を伸ばしている。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>搬入量については、スギ・ヒノキともに2割程度の増。価格については、スギ・ヒノキ共に1,000円～1,500円/m程度下落。</p>	<p>刃物製造</p> <p>売上の増加要因として価格改定への理解があると思われる。しかし、土佐刃物全体としては、生産量は減少しているようである。一日の製作数は決まっており、受注に対し対応できていない状況である。</p>
<p>製材</p> <p>梅雨の時期で全般に低調で、価格等市場にも変化なく現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>引き続き高い操業度で推移している。</p>
<p>製紙 (家庭紙)</p> <p>人手不足・働き方改革等の影響でトラック運賃が高騰。地理的ハンディを背負う高知県内の家庭紙業界にとっては、厳しい状況が続く。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>6月度製品会取引高は、前年同月比75%であった。取引高の低迷続く。業況に変化なし。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要の官公需及び民需は低調。県外需要も一部が不調、他は前年並。参議院選挙特需で辛うじて前年並を保った。</p>	<p>卸団地</p> <p>気温が高く少雨であったが、外食産業に良い影響があったようには感じない。また、景気回復は感じられない。採用難が続いている。</p>

<p>青果卸売</p> <p>青果物及び果実共に低価格の為、売上は低調である。但し、県外出荷については、そこそ順調であったので全体としては前年並である。</p>	<p>商店街 (四万十市)</p> <p>増税を3か月後に控え、「軽減税率」や「キャッシュレス」の説明会が目白押し。キャッシュレス対応に関しては個店の温度差を感じる。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>カツオ、マグロ共に入荷量が多かった為、仕入れ単価が安値で推移した。よって、今月の買い高の減少に繋がっている。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>企業団体の総会月で需要が偏り、特定日の繁忙が多かった。後半の天候不順で宿泊客は対前年割れとなった。</p>
<p>各種小売 (土佐市)</p> <p>特に変わりはなく、毎年6月はあまり動かない。</p>	<p>飲食店</p> <p>前月比、前年度比共に売り上げは減少した。豪雨災害等もあり売り上げが減少した前年度をさらに下回っており業界の景況ははっきりと悪化した。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>米国の原油の在庫増により、元売り仕切り価格は3週間連続して値下げとなった。タンカー被弾などで供給懸念が浮上し、中東産は63ドル台となったが、値下げ基調が続き、全国、高知県市況共に下落した。</p>	<p>旅行業</p> <p>総合クーポン売上 前年同月対比111%、全旅クーポンを加味して99%。若干の売上減少の要因は前月の売上増加の反動と思われる。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>6月度は、前年比96%であった。エアコン94%、冷蔵庫92%、大画面テレビ93%、テレビ全体で88%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比122.5%、前年同月比114.2%、H31/4～R1/6累計は前年同月累計比106.1%の水準。6月の公共工事請負金額は前年同月比で119.9%、前年対比累計では137.1%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>前月と比べ展示台数、売上、客単価の変動はない。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事量は、前年同月比61% (△39%) となった。高知中央、香長、安芸地区が減少した。</p>
<p>商店街 (安芸市)</p> <p>消費税軽減税率制度やキャッシュレス決済導入についての説明会が行われているが、個店の対応はあまり進んでいない。特にキャッシュレスについて関心はあるが導入は検討していない個店が大半である。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格が値下げとなったことは好材料ではあるが、荷動きは鈍いよう組合実績も前年を下回った。</p>
<p>商店街 (高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比98.2%、台数:前年比96.1%。高知県の小売業事業所数は、人口1万人当たり93.4事業所と全国1位。小売業は少ないパイを今以上に分け合う状況である。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.2%、輸送回数:97.6%。当月の実働率は66.1%。</p>

あなたの挑戦のそばに
三井住友海上はいつもいます。

安心のゴールキーパー

MS&AD
三井住友海上
www.ms-ins.com

MS&AD インシュアランスグループはサッカー日本代表を応援しています。 ©2016 adidas Japan K.K. adidas, the 3-Bars logo and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.